

お客様各位

カタログ等資料中の旧社名の扱いについて

2010年4月1日を以ってNECエレクトロニクス株式会社及び株式会社ルネサステクノロジが合併し、両社の全ての事業が当社に承継されております。従いまして、本資料中には旧社名での表記が残っておりますが、当社の資料として有効ですので、ご理解の程宜しくお願ひ申し上げます。

ルネサスエレクトロニクス ホームページ (<http://www.renesas.com>)

2010年4月1日

ルネサスエレクトロニクス株式会社

【発行】ルネサスエレクトロニクス株式会社 (<http://www.renesas.com>)

【問い合わせ先】 <http://japan.renesas.com/inquiry>

RENESAS TECHNICAL UPDATE

〒100-0004 東京都千代田区大手町 2-6-2 日本ビル
株式会社 ルネサス テクノロジ
問合せ窓口 E-mail: csc@renesas.com

製品分類	MPU&MCU	発行番号	TN-SH7-A557A/J	Rev.	第1版
題名	SH7710/SH7712/R4J7710ABG E-DMAC パディング機能使用禁止について		情報分類	技術情報	
適用製品	対象ロット等		関連資料	SH7710 ハードウェアマニュアル (RJ09B0043-0100Z Rev.1.00)	
	全ロット				

拝啓、貴社益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。また、日頃より格段のご愛顧を賜り深謝申し上げます。

SH7710/SH7712/R4J7710ABG E-DMAC パディング機能に関して、以下のような不具合があるため、E-DMAC パディング機能はご使用にならないよう、お願い申し上げます。

敬具

【不具合内容】

- 受信フレームの先頭データが4バイトずれて受信バッファに格納される不具合
E-DMAC パディング機能を使用して受信動作中に、受信フレームカウンタオーバーフロー、または、受信 FIFO オーバフローが発生すると、本オーバーフローが解除され受信動作を再開した時に、正常な受信フレームの先頭に4バイトの不要データが付加されて受信バッファへ格納される場合があります。本不具合が発生するか否かは、パディング挿入数を含めた受信フレームデータ長に依存し、本データ長（バイト数）が4バイトの倍数でない場合に発生します。
- E-DMAC 受信動作停止となる不具合
E-DMAC パディング機能を使用して受信動作中に、接続している回線上で衝突が多発し、多数のショートフレームを受信した場合、その後、正常な自宛フレームを受信すると E-DMAC は受信動作停止状態となります。

【その他】

関連する TECHNICAL UPDATE 「SH7710 E-DMAC に関する使用上の注意事項について」 (TN-SH7-A543A/J)

以上